大会実施に向けたガイドライン【R５年２月１１日　５０周年記念大会版】

深川市バドミントン協会

１．感染予防の基本的対策について

・発熱者（３７．５度以上）の入場を禁止する（外出前の検温の徹底または入場時の検温を行う）。
・応援の来館はご遠慮ください。（原則、無観客試合）
・会場内においては、コートに入っている選手以外はマスクを着用する。
・常時、及び定期的に試合を中断して換気を行う。
・消毒液を複数箇所に配置する。
・開会式は、参加者は広く間隔を取り簡潔に行う。
・共有スペース（更衣室、トイレ、ロビーなど）の利用においてもご配慮下さい。

２．競技運営上の具体的対策について

・用具入れのカゴは配置せず、各自バッグ等をコートサイドに置くこととする。
・審判台は設置しない。主審は立って審判を行うが、コールは「プレイ」「レット」「フォルト」「ゲーム」等、最小限とする。得点板を配置するので、主審はポイントのコールをしない。
・得点板は線審が担当する。
・線審は「アウト」のコールはせず、指定の合図のみ行う。
・インターバルは競技規則通りとする。
・勝者サインは、主審が記入し、勝利選手が確認を行う。
・各試合終了後、線審はイスと得点板を消毒する。除菌シートは使用後すぐ捨てる。
・選手、主審、線審は試合終了前後に本部席前にて手指の消毒を行う。

３．大会参加に関する留意事項

・各団体・個人で、健康状態観察シートを作成し、受付時に提出する。
・試合以外では、マスクを着用する。
・会話をする場合は、マスクの着用を励行する。
・ギャラリーでは適度な距離を取って座り、前に出ての応援や席の移動を禁止する。
・応援は拍手のみとし、声を出しての応援を禁止する。
・試合前後のあいさつは十分な距離を取り、握手をしない。
・シャトルの交換は主審に確認後、選手が筒から出して行う。
・シューズの裏を手で拭かない。
・意識的に試合中の声出しはしない。
・ハイタッチ等の接触を行わない。
・ゴミは各自で持ち帰る。